


# ネイチャー・ウォーク

平成 24 年 10 月号  
2012. . 発行  
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

## ■先月のネイチャーウォーク

# スカッと冷やり

## ～見沼・芝川散策～

(JR 武蔵野線東浦和駅～JR 京浜東北線蕨駅)

8月はお休み、9月は雨で中止だったため、久しぶりのネイチャーウォーク♪ 気合いも入れていざ! と思っていたのですが、出発時間の段階では曇り空。天気が回復することを祈って出発です。

残念ながら、途中から雨が降り出しましたので、10km 程度を歩く当初の予定から、東浦和駅から蕨駅へ向かう 7.4km のショートコースに変更することになりました。



←見沼通船堀公園の竹林の中を歩きます。

生い茂る竹のおかげで、雨に打たれず傘をたたんで歩くことができました。

公園の入り口の車止めがかわいらしいタケノコの姿だったこともあってか、竹林の風景を堪能するとともに、「どれどれ。タケノコはあるかな?」と、みんな竹の根本にも注目していました。

やっぱり食欲の秋ですからね。



竹林をぬけると、国の史跡である見沼通船堀の関がありました。皇太子さまも視察されたことがある史跡ということもあり、しばらく話題が尽きませんでした。

### 見沼通船堀（みぬまつうせんぼり）とは？

「見沼通船堀」は、芝川と見沼代用水を結び、江戸と川越に至る村々との間に船を通わせて物資を運ぶために造られた国内最古の閘門（こうもん）式運河と言われています。東西の各用水と芝川との水位が3mもあるため、途中ニヶ所の閘門（開閉できる堰）を設けて水位を調節しながら船を通す構造となっているのが特徴です。



←みなさん足を止めて何かを拾っていたので近づいて見せていただくと、「ムクロジ」の実がたくさん！

お土産ができたみなさん嬉しそうでした。



ムクロジの種子はとても堅く、よく弾むので羽子板の羽の先のおもりとして利用されるそうです。また、水を泡立てる働きがあるので洗濯に利用したり、煎って食べることができるなど、いろいろな方面で大活躍のスグレモノなのだそうです。



「前川第1公園」にあるのは平六代が処刑されたという首塚。一方、「観福寺」には処刑されずに生き延びたという逸話が残っています。

果たして真実はいかに？

地域に残る伝説を知れば、大河ドラマ「平清盛」もより楽しめるかも？

平清盛最後のひ孫、平六代ゆかりの地が「観福寺」と「前川第1公園」にありました。2つの場所は300mも離れていないのに、それぞれ言い伝えが違うということで、リーダーから詳しく解説してもらいました。



前川第1公園で彼岸花の葉を発見！彼岸花は「葉見ず、花見ず」と言われ、まわりの植物が枯れている冬の陽だまりの中でせっせと光合成を行って、球根に栄養を貯めこんでいるそうです。

彼岸花の生きる知恵にみんな感心していました。



次回は晴天になると  
いいニャー



前川第1公園でちょうど雨があがったので、みなさんと共に楽しくお昼を食べて今回のネイチャーは一端終了！

その後はまったり蕨駅まで歩きました。

寒い中、みなさんお疲れ様でした。